

2017（平成 29）年度 事業報告書

学校法人三育学院

三育学院大学 / 三育学院カレッジ

学校法人 三育学院

(学校名) 三育学院大学・カレッジ(年 度) 2017 年度

事 業 報 告 書

年度の途中から鈴木純恵先生をお迎えし、行政と教育において体制が強化された。鈴木教授は、大阪大学教授、そして獨協医科大学看護学部の学部長として大学院を立ち上げた経験豊かなリーダーである。大学院の検討が開始されるこの時期に適切な経験者が与えられ感謝である。

2017 年 11 月の教団年次理事会において、以下の「大学院の設置を推進する提案」が決議された。

「学校法人三育学院に対し、大学看護学部（看護学科）の充実と、東京校舎二学年化にとどまらず、専門大学院（看護大学院）の設置を推進することを提案する。」

6 月 19 日から 21 日 5 名の教育及び財務・経営の専門家を迎え、AAA による査察が行われ、学生数減少による赤字、東京 2 年プロジェクトについてアドバイスをいただき、教団へは寄付金の増額の提案などがあった。また、ガバナンスに関しては、教団、大学関係者以外から 1/3 以上のメンバーを加えた高等教育の委員会を結成するよう意見を受けた。

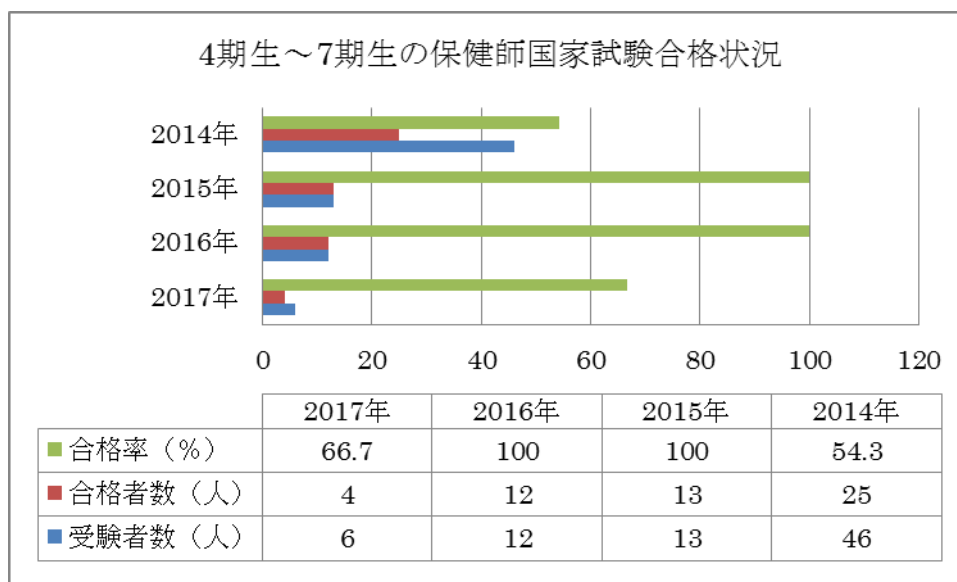
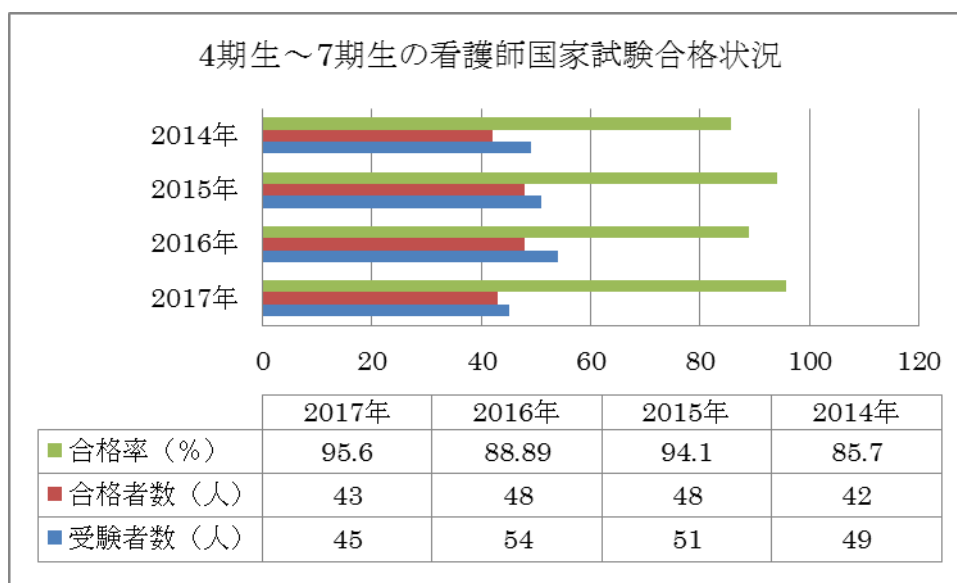
東京で看護学生 2 学年が学ぶために、東京衛生病院の土地をお借りし、教団や三病院の皆様のご支援を受け新校舎の建築が開始された。9 月 20 日に起工式が行われ、建築面積は、約 250 m²、延べ床面積 609 m²の鉄筋コンクリート造 3 階の校舎が来年 7 月に完成する予定である。

看護学部看護学科

2017 年度、看護学部の入学者は大きく定員を割り 38 名であった。この危機を乗り越えるために、考えられるあらゆる有効な手段で学生募集を実施した。また、地域創生のために国が行った東京の大規模大学の定員超過率の抑制も追い風となり、2017 年度末までに次年度入学希望者が 57 名あった。東京に 2 学年が学ぶことによって生じる変化に対応するためカリキュラムの検討が行われている。

国家試験の合格率

2017 年度（2018 年 2 月受験）の国家試験合格率は、看護師 95.6%、保健師 66.7%であった。看護師国家試験はさらなる合格率の向上を目指し、次年度（2018 年度）に向けて、新たな取り組みを検討している。



第 107 回看護師国家試験合格状況

2018 年 (平成 30 年) 2 月 16 日実施

	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)
本学看護学科	45	43	95.6

第 104 回保健師国家試験合格状況

2018 年 (平成 30 年) 2 月 18 日実施

	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)
全 国	7,707	6,572	85.6
本学看護学科	6	4	66.7

カレッジ神学科

三育学院カレッジ神学科は 2015 年度から新課程がスタートし、2017 年度末に高度専門士の資格が認定された。これにより、大学と同等の資格と認められ卒業生は大学院への入学が可能となった。

キリスト教教育専攻では、研修生が寮、学修センターまた学内の諸活動でも活躍すると共にアドベンチストの教育者としての資質を高めるために、アドベンチスト教育、聖書、神学を学んでいる。牧師を目指す学生との交流があり、将来現場における教育と牧会の働きの連携も大いに期待される。

地域貢献としての大多喜町英語教育支援

大多喜町の要請により保育所、小学校、中学校に英語教員を派遣し、町の教育の充実に貢献している。町も広報などで取り上げ、町の地域創生のプランにも組み込まれている。こうした地域貢献活動は、2020 年からの中等教育移転における土台作りとしても機能している。

モットーおよびミッションステートメント

モットー To Make People Whole

ミッションステートメント（三育学院が社会に果たす使命）

本学は、プロテスタント・キリスト教の精神、とりわけその潮流のもとにあるセブンスデー・アドベンチスト教団の理念と実践に基づく教育共同体である。そのめざすところは、聖書に示されている本来の人間すなわち霊性（spiritus）、知性（mens）、身体（corpus）の統合体としての人間の全体的な回復である。本学の使命は、この目的のもと、神をすべての価値の根源として真理を探究し、自己と他者の尊厳を重んじ、より良い社会の形成をめざして、それに貢献し得る人物を育成することである。

1. 設置する学科名 募集定員、入学者および在籍者数の状況（2018年3月31日）

	定員	2014	2015	2016	2017	在籍者数	収容定員
看護学科	50	53	43	49	38	178	200
神学科	21	—	10	11	4	20	50
教育学科	—	1	—	—	—	1	—
合計	71	57	53	60	42	199	250

2. 卒業生の進路状況

(1) 看護学部看護学科卒業生 (46名)

就職	三病院	22名
	県内	5名
	県外	16名
進学		2名
その他		1名
合計		46名

(2) カレッジ 神学科 (5名)

就職 4名 (牧師インターン 3名、うち1名は海外)

3. 2017年度 教職員体制ならびに教職員数

学長：東出克己 副学長：山地 正 法人・大学・カレッジ事務局長：山口伊作、

学長補佐：鈴木純恵

看護学部学部長：本郷久美子、学科長：後藤佳子

神学科学科長：東出克己

教職員数

専任教員：34 (大 26、カ 8)

職員：20 (大 18、カ 2)

入職

鈴木純恵 看護学部特任教授 (6月1日付) ・学長補佐 (12月1日付)

白木沙知 看護学部助手

野口盛子 ミルテ寮寮監

上谷佳弘 運行・管理課

ジョセフ デュアート CMC 副主事 (6月1日付)

竹上恵里香 寮監補佐・総合オフィス事務・健康管理室 契約職員

上谷清美 食堂課 契約職員

退職・契約終了

山田 亜美 准教授 2018年3月31日付

海老澤 のり子 特任教授 2018年3月31日付

魚野彩菜 CMC 2017年4月31日付

バラゴーナ メイアン 助教 2017年8月31日付

4. 2017年度 主な教育、研究への取組

1) 学修センター

図書館と関連施設を使った学修センターがスタートし、4年目を迎えた。2017年度においては、eラーニングの導入が行われ、学生の基礎学修を支援する体制を構築した。

2) 全人的教育への取り組み

本学は、知性、身体性、霊性の最大限の発達と共に、円満な人間形成の実現を建学の精神としている。全人的教育は、本学在学期間中のみならず、卒業後も持続的に一人一人の人生を豊かにするものである。2018年度より、東京で看護の2学年が学ぶにあたり、全人的教育の新たな枠組作りを検討している。

3) キリスト教教育

(1) 活動および行事全般

活動・行事	2013	2014	2015	2016	2017	合計
バプテスマ	2	2	6	6	3	19
宗教週間	3	3	3	3	3	15
小グループ	6	6	6	5	7	30
特別礼拝	8	8	8	8	8	24
青年礼拝	12	6	2	6	6	30
聖歌隊・ハンドベル活動	14	14	13	25	17	83
リーダーシップ講習会	3	3	3	2	2	14
ボランティア活動	3チーム /27回	3チーム /28回	3チーム /32回	3チーム /26回	3チーム /28回	3チーム 141回
ATI/参加者数	1/10	1/11	1/12	1/12	1/7	5/52

(2) バプテスマ数 3名 (学生 3名)

実働の牧師スタッフが減少した一方で、神学科学生が積極的に伝道に参加していることもあり、今年度 3 名のバプテスマが与えられた。今後も神学科学生また東京校舎の CMC と連携し、学生の信仰を育てていく。

(3) バイブルウィーク

春期バイブルウィーク 5月 15日 (月) ~20日 (土) 山口豊牧師

秋期バイブルウィーク 10月 16日 (月) ~21日 (土) 河原久牧師

学生バイブルウィーク 2018年 2月 28日 (水) ~2日 (金)

(4) 寮礼拝の充実

神学科学生が 3 チームに分かれて、各寮の礼拝を 1 週間に 1 回担当し、寮の宗教委

員と協力して寮礼拝の充実を図った。

(5) ボランティア活動

今年度は、後期より参加者が減少し、ことに1年生の参加が少なかった。ATIも同様に1年生の参加がなく、2年生が7名参加した。また、神学科学生のボランティア参加が少ないことも課題となっている。これまで、ボランティアの盛んな学校、国際交流の機会のある学校ということで、入学して来た学生が一定数いたように思われるが、学生の本学に対する志望動機が変わって来ているのかもしれない。キリスト教教育の実として神に仕え人に仕える奉仕者を育てることを目指しているが、教育のありかたを見直す必要があるように思われる。

(6) 聖歌隊・ハンドベル

聖歌隊、ハンドベルともに学生リーダーが主体的に活動を企画し、聖歌隊、ハンドベル共に、クリスマスシーズンを中心に近隣の教会、商業施設、実習病院や福祉施設などで演奏を行った。聖歌隊はクリスマス演奏旅行で高知教会を訪問し、近隣の高齢者施設でも演奏した。ハンドベルはクリスマス以外の時期にも、千葉県内の教会で神学科教員の引率によって音楽礼拝などを行っている。

(7) ミッショントリップ

公衆伝道の訓練とマラナ・タ18のための準備のために、2017年6月にフィリピンで行なわれたミッショントリップに神学科学生8名を派遣した。また3月に神学科を3月に卒業した卒業生5名が福井集会所を伝道支援のために訪問した。

(8) マラナ・タ18のための準備

2018年1月より、バスパーの総テーマを「Meeting Jesus」とし、毎回神学科学生が、聖書の中に出てくるイエス・キリストに出会った人々の経験をもとにお話した。また、2月10日(土)の夕方に、「Follow Jesus」というテーマで、関町教会青年会と学生有志によりミニ講演会を行った。